

# TOREK 自然農法 ホットニュース

第 271 号 2020.11.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

## TOREK 秋季農産展 2020

11月3日、農産展が八王子で行われました。

出品者 54 名、出品数 251 点。今年は長雨や猛暑が続いた中、自然農法の実施者が、それぞれの圃場で作物の栽培に努力し、このように実りの秋を迎えることができました。展示作物一つ一つに、その強い感謝、思いが込められているように感じました。

スタッフが準備したビン実験では、お茶、ニンジン、小松菜の匂いや色を比較しました。特に慣行栽培の小松菜は、ひと月ほどビンに入れたものですが、のけぞるほどの異臭を放っていました。一方、自然農法の小松菜の香りは、そのままおかずにしてご飯が食べられるのではないかと思う発酵具合でした。普段の食について考えさせられました。



また今回、人数制限がある中での開催でしたので、来場者は「来られなかった方の分も」という気持ちで見学し、稲に関しては、約ひと月、八王子に展示が置かれ、おりにふれ勉強させていただくことができました。

特に今回は、「生産者」「流通」「消費者」が、感謝の心で協力し合い、三位一体となって取り組んでいくことが、自然農法普及につながり、それによって、将来の私たち人類の健康に影響していくことを学びました。日々できることから、自然農法活動を行っていく心を強くした、実りある秋の農産展でした。（編集部）

## 食材を求める方々、自然栽培フェア

10月24、25日、コロナウイルス禍の中ではありませんでしたが、例年通り、「中野セントラルパーク」にて、「自然栽培フェア」が開催され、今年も「むせひ屋」として出店させていただきました。

コロナ禍の影響で、例年よりも人が集まらないのではないかと不安もありましたが、ふたを開けてみると、コロナ禍だからこそ、良い食材を求める方々が多くいらっしゃり、来場者数は例年なみ、むしろそれ以上の多さのように感じました。実際に、「むせひ屋」では延べ 150 人以上のお客様にお買い求めいただき、今回仕入れさせていただいた自然農法の野菜、調味料、加工品などは、ほとんど完売いたしました。

今回、感染症対策の一環で、試食や試飲ができず、自然農法の食物のすばらしさをどのよう



にお伝えできるか、難しいところはありましたが、むしろ一人ひとりのお客様と、生産者の方々の想いや、その生産背景等について、じっくりとお話をすることができました。またブース内では、目やにおいで違いが分かるようにと、ビン実験（慣行農法と自然農法の小松菜、煎茶を比較）を大山さんにご用意いただきましたが、実際に体験された方の多くは「何を今まで食べてきたのか」と、その違いに驚愕をされる方が多くいらっしゃり、すぐに自然農法のお野菜やお茶を手にとられる方もいらっしゃいました。

今回、この状況下にもかかわらず、お客様の中には、相模原、長野、木更津、鴨川等の遠方からお越しになられ、「どうしても自然農法の野菜が欲しいんです！」「自然栽培を始めたいんです！」と、例年にも増して強い気持ちの方とお会いすることができ、自然栽培に関する取り組みや普及の必要性を改めて感じさせていただきました。また、「免疫力を高めるためには、食生活からしっかりしていかなければ」とお考えになられている方も多く、コロナ禍の影響により、より食材そのものに関心が向けられていることを感じました。

今回、仕入れや感染症対策の準備等、手探りの部分も少なくありませんでしたが、生産者の皆様から、いつもながらにすばらしい自然農法のお野菜・加工品を準備いただきました。スタッフ一同、深く感謝申し上げます。（スタッフ 原口祐樹）

## 肝臓の病気が快復！ピース

群馬県 篠原 誠

今年7月、我が家に待望の仔犬「ピース」がやってきましたが、2カ月後に、先天性の肝臓病「門脈体循環シャント」という、聞いたことのない病気が判明しました。人間にもある病気だそうです。この病気は、血管の奇形により、肝臓を通らずに栄養分やアンモニアなどの有害物質が全身を循環してしまう病気です。有害物質が溜まると、肝性脳症を起こし、よだれ、ふらつき、徘徊行動、旋回行動、昏睡、そして死に至るといふものです。

ピースの発作は、旋回行動までいっていたので、獣医さんの診断では、「重症で、長くは生きられないでしょう」とのことでした。この病気は、アンモニア値を上げないということが大切で、「食事に気をつけないと、すぐに発作が起きます」と言われ、獣医さんの奨めた医療食のドッグフードを与えてみましたが、やはり発作が起きてしまいました。

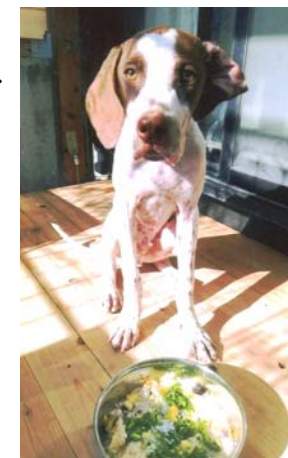
この病気のことを自分たちなりにネットで調べてみたところ、添加物、保存料、薬、肉などが入っているとダメだということが判りました。医療用のドッグフードには、保存料が入っていたのです。無添加と表示されていても、保存料が入っているのです。ピースの食べられるドッグフードは見つかりませんでした。すると妻が「これしかないよ」と、自然米と我が家で栽培した自然農法の野菜で作った、いわゆるネコマンマでした。これなら添加物も保存料も入っていません。ピースに与えると、すごい勢いで完食です。発作も起きません。

それからこの食事を与えていましたが、他の犬の残したドッグフードを食べてしまったときがあり、すぐに取り上げましたが、3時間くらいすると、発作が起きてしまいました。「あんな少しでもダメなのか」、ピースはまるで有害物質のリトマス試験紙のようです。添加物、保存料の怖さを痛感しました。

ピースはその後、5日間生死をさまよいましたが、自然食のおかげで元気になりました。もしも自然農法との出会いがなかったら今頃ピースは…。

自然農法の素晴らしさを一人でも多くの方に伝えさせていただきたいと思います。

「自然農法バンザイ！」



## お知らせ (変更の可能性あります)

★ 自然農法頒布会 11月26日(木)、12月16日(水) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00 (売切れ次第終了)

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: [naturefarming@torek.jp](mailto:naturefarming@torek.jp)  
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>